

安保破棄ニュース

No. 512
2019.12.12

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒543-0001 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 06-6763-1383
FAX 06-6763-1386
Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.anpo-osk.jp

批 評 報 道

宮古島・石垣島への支援連帯行動に参加して(宮古島編)

事務局長：守山禎三

2015年4月の日米ガイドライン、安保法制の下、日米一体化が進められ、自衛隊が米軍の肩代わりを担わされる動きが激化し、南西諸島では中国を意識したミサイル基地の配備など自衛隊基地が増強され、住民の意思を無視した工事が急速に行われています。

宮古島・千代田地区。ここには、真新しい自衛隊官舎が立ち並び、今年度中に地对艦・地对空ミサイル部隊800人が配備される予定です。

宮古島の住民がこの計画を知ったのは2015年5月12日。前日に国から下地市長に陸自警備部隊とミサイル部隊の配備についての打診があったという地元紙の報道からです。

しかし、防衛省はこの時点で既に次年度予算に用地費数十億円を計上しており、下地市長が自衛隊の訓練場や官舎の建設が予定されている民間ゴルフ場の土地買収を国に申し入れたということが報じられています。

この間、いくつもの市民グループが立ち上がり、「市民に何の説明もないまま議会で決めるのは納得できない。早急に市民説明会を開くべきだ」と市長や市議会に要請や集会、街頭宣伝を行っていたにもかかわらず、7月8日には本会議で陸上自衛隊の早期配備を求める「意見書」が採択されます。

市長は「弾薬庫やヘリパッドは造らない」という防衛省の説明を無批判に受け入れ、結果、2017年10月末から造成工事が開始されます。

住民の監視活動の中で、「保管庫」と説明して建設されたものが「弾薬庫」だったことが判明し、防衛省の平気で国民を欺く姿勢が問題となつていますが、未だに防衛省からも市長からも市民へのまともな説明はされていません。

しかも、「弾薬庫」のすぐ近くにはジェット燃料等700tを貯蔵する燃料タンクが、地下に「空洞」が認められる軟弱地盤の上に造られており、貴重な地下水の汚染が危惧されています。

さらに、千代田では「弾薬庫」からわずか75m、保良では200mしか離れていないところに民家があり、半径500m以内には集落や農地があります。このことから住民を無視した防衛省の姿勢、そしてそれを容認する市長と与党議員の責任は重大です。

国民の主権、いのち・安心・安全を脅かし、地方自治・民主主義を踏みにじる「戦争する国」づくりが全国で進められています。

全国が我がこととしての位置づけの下、連帯してたたかきましょう。

日米地位協定改定に向けて

「日米地位協定抜本的改定を！学習交流集会 in 大阪」

昨年7月に全国知事会において、日米地位協定の抜本的改定を求めることを含めた「米軍基地負担に関する提言」が全会一致で採択されました。世界的にも異常な米軍特権を認め、日本の主権を侵害している、日米地位協定の抜本的改定への機運が高まっています。現在、全国183の自治体で、日米地位協定の抜本的改定を求める意見書が採択されています。ですが、残念ながら大阪ではまだ5自治体(摂津市・忠岡町・吹田市・茨木市・熊取町)にとどまっています。地域の団体が「日米地位協定の抜本的改定を求める意見書採択を求め」る「請願書」を提出しましたが議会でも採択とされた自治体もありません。いま、地域から「日米地位協定を抜本的に改定せよ！」の声を大きくし、議会内外の連携で、意見書採択を広げなければなりません。

この運動を飛躍的に進めていくために、安保破棄大阪実行委員会として、来年1月11日(土)に「日米地位協定抜本的改定を！学習交流集会 in 大阪」を開催します。安保破棄長野県実行委員会事務局長の林茂樹さんに来ていただき、長野県の取り組みについてお話していただきます。

長野県では、県を含め78自治体の内41の自治体で日米地位協定の見直しを求める「意見書」が採択されています。各地域で運動をつくっていき、地元の人々が請願者となり議員とも協力しながら意見書採択を実現しています。今回の学習会では、その経験から学びます。

ぜひ、ご参加ください。

また、現行の日米安保条約・日米地位協定発効から60年となる、来年の6月までに、「日米地位協定の抜本的改定を求める請願」署名を500万筆目標に、全国の安保破棄実行委員会が中心となり、現在取り組んでいます。この署名にもぜひご協力をお願いします。署名用紙が必要でしたら、安保破棄大阪実行委員会事務局までご連絡ください。

署名や意見書採択を広げよう

日米地位協定抜本的改定を！

学習交流集会 in 大阪

2020年1月11日(土)
午後1時開場・受付 午後1時半開会
午後4時開会
○講演「長野県の経験から学ぶ」
感想経験交流
会場：大阪府社会福祉会館 403号
(資料代：500円)

【講師】
林 茂樹さん
(安保破棄長野県実行委員会 事務局長)

【主催】
安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会
大阪市天王寺区玉造元町17-22
(☎06-6763-3833 male:sapo-osk@abeam.ocn.ne.jp)

(会場までの地図)
地下鉄谷町6丁目駅下車 南へ徒歩7分
谷町7丁目交差点西側

近畿安保破棄実行委員会共同の申し入れ行動

近畿の安保破棄実行委員会が共同して11月15日、近畿中部防衛局と陸自中部方面隊に対して、繰り返し行われる滋賀県饗庭野演習場における実弾演習に関わる事故に抗議し、演習場の広さなど根本的な点から、住民の安心・安全を脅かす実弾演習そのものを中止するよう申し入れました。

また同時に、今年2月に続いて12月1日から同演習場を使用し、欠陥機オスプレイを参加させて行われる日米合同演習についても、中止を求めました。

今回の抗議・申し入れにおいても、日米地位協定の抜本的改定の必要性と共に、ガイドラインの具体化がすめられ、自衛隊が米軍と共に戦争する軍隊へと変貌しつつある動きを食い止めることの重要さを考えさせられました。

日米合同演習反対!

12・1あいばの大集会



滋賀県高島市にある陸上自衛隊あいばの演習場で、12月1日から13日までの日程で日米合同演習が行われています。これに反対し、抗議の意思を示すために、ふるさとをアメリカ

カ軍に使わせない滋賀県連絡会の主催で12月1日に高島市・住吉公園で「住民の命を守れ!実弾演習するな!オスプレイいらぬ!」日米合同演習反対 12・1あいばの大集会が行われました。県内外から300人が集まり、大阪からは22人が参加しました。安

当面の予定

12月

- 18日(水) 近畿安保合同会議(14:00~大阪安保)
- 23日(月) 大阪安保23定例宣伝(12:00~淀屋橋)
- 26日(木) 事務所年末年始閉所(〜1月3日)

1月

- 5日(日) 勤労協「新春学習集会」(14:00~中央区民センター)
- 8日(水) 2020年第1回常任幹事会(10:00~大阪安保)
- 11日(土) 「日米地位協定抜本的改定を!学習交流集会 in 大阪」(13:30~大阪社会福祉会館)
- 18日(土) 大阪 AALA・日中友好協会大阪府連共催・国際問題講演会(14:00~国労会館3階大会議室)
大阪労連30周年レセプション(シティプラザ大阪)
- 23日(木) 大阪安保23定例宣伝(12:00~淀屋橋)
- 25日(土) 日米安保条約・地位協定60年「学習と運動交流の集い」(11:00~全労連会館)

2月

- 1日(土) 公害環境デー府民集会(13:30~エル大阪南館ホール)
- 5日(水) 2020年第2回常任幹事会(10:00~大阪安保)
- 21日(金) 大阪安保23定例宣伝(12:00~淀屋橋)
- 22日(土) 「沖縄連帯と支援のつどいー稲嶺進さんを迎えて」(18:00~西成区民センター)

大阪安保年末年始事業活動

○津軽のほほえみりんご《2月25日まで》

ふじと王林の詰め合わせ(10kg): 4,700円

○琉球泡盛「美しき古里」30度(12本入り)《年中通して》

13,200円

ご協力お願いします。

ご注文は、安保破棄大阪実行委員会事務所まで。

23宣伝行動

11月の大阪安保23定例宣伝行動を、11月22日に行いました。継続的に行うようになってから通算で381回目の23行動です。

日本共産党、憲法会議、うたごえ協議会、母親大会連絡会からの弁士による訴えと、ビラ配布、「日米地位協定の抜本的改定を求め」請願署名呼びかけを12人の参加で行いました。

署名の内容に興味を持ち、日米地位協定の問題点や日本政府のひどい対応を伝えることで署名をしてくれる青年などもいました。

思いやり予算の問題、改憲問題、大阪市廃止構想の問題、カジノ問題など、多彩な内容で、弁士の訴えにも熱が入っていました。

11月の23宣伝行動は、11月22日に行います。是非、ご参加ください。



安保破棄大阪実行委員会の植田代表幹事が連帯のあいさつをしました。

集会の最後に、日米合同演習を絶対に認めず、日米地位協定の抜本的改定を求め、安倍政権退陣のために全力を挙げることを含めた集会宣言を確認しました。

集会後、町内を「日米合同演習反対!」「自衛隊を戦場におくるな!」「憲法まもれ!」などの声をあげながらデモ行進を行いました。

